

科目名	心理学／心理と行動	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	佐々木 宏之		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-110044	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>基礎心理学の諸問題を概観し、意外なまでに知らない自分自身の心の振る舞いと、つい自分の常識で測ってしまうと見誤る他者の心の振る舞いについて理解する。各テーマにおいて、簡単な実験やデモンストレーションをふまえることで、心理学の基礎について理解を深める。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること。</p>				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学に関する基礎的な知識を身につけること。 ・日常の行動を心理学の視点から分析すること。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	<p>心理学とは</p> <p>心理学にはどんな分野があるかを概観し、現代の心理学の基本的な考え方について理解する。</p>
第2回	<p>感覚・知覚</p> <p>外界の情報をどのように心に取り入れているのか。視覚の働きを中心に学ぶ。</p>
第3回	<p>顔の認知</p> <p>視覚認知の中でもっとも高度の情報処理を行っている顔の認識に見られる諸特性を学ぶ。</p>

第4回	<p>注意と意識</p> <p>感覚・知覚・認知のように、外界から心に入り込む情報に対して心はどのように対処するのか、注意・意識の働きについて学ぶ。</p>
第5回	<p>記憶</p> <p>記憶の機能と、それらを実証するための実験手法について学ぶとともに、様々な記憶の性質について理解する。</p>
第6回	<p>学習</p> <p>学習とは、行動が経験により比較的永続的に変容することと定義される。この授業では、学習の一般原理、運動技能の学習、学習法について学ぶ。</p>
第7回	<p>欲求・動機づけ</p> <p>私たちが行動に駆り立てる心のしくみについて理解する。そして、反対にやる気を失うとはどのようなことなのか理解する。</p>
第8回	<p>感情</p> <p>基本感情と感情の発達過程、感情の測定方法について学ぶ。</p>
第9回	<p>対人社会心理学-自己知覚・他者認知</p> <p>自分以外の他者の心の存在があるとき、自分自身について、他者についてどのような認識が生じるのか学ぶ。</p>
第10回	<p>対人社会心理学-印象形成と印象操作</p> <p>他者の印象がどのようなメカニズムで形成されるか、そして自分が他者に対して印象を良くするためにどのようなことをするのか理解する。</p>
第11回	<p>集団社会心理学-同調・服従・内面化</p> <p>他者の存在がどのような行動の変容を引き起こすのか集団心理を理解する。</p>
第12回	<p>性格-性格の理解</p> <p>心理学ではパーソナリティという個人差をどのように捉えてきたのか学ぶ。</p>
第13回	<p>性格-性格の測定</p> <p>パーソナリティの測定方法を学び、実践する。</p>

第14回	知能-知能の理論 心理学では知能という個人差をどのように捉えてきたのか、歴史的背景と知能に関する最近の研究動向を学ぶ。
第15回	知能-知能の測定 知能の測定を学び、実践する。
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間（配布資料の予習）
【復習】時間・内容	2時間（配布資料を基に授業内容のふりかえり）

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】自己学習によるレポート課題（20%）と定期試験（80%）により、総合的に評価する。 【課題に対するフィードバックの方法】模範的なレポートを授業で公表し、解説をおこなう。
フィードバック方法	ポータルサイトで公開し、解説する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	特に教科書は指定せず、必要な資料は授業中に配布する。
受講上の留意点等	特になし。
JABEE	